

塩冶
地区

第86号

社会福祉協議会便り

編集・発行 塩冶地区社会福祉協議会 事務所 塩冶コミュニティセンター内 TEL 21-0248
 塩冶社協ホームページ <http://enyashakyo.skr.jp/>

話食交流会



2月21日(火)、高齢者・障がい者福祉部では、恒例の『話食交流会』を地域活動管理栄養士の藤井ゆりこ講師をお迎えし、塩冶コミュニティセンター調理室にて行われました。レシピは、彩りご飯・豚バラ大根・すまし汁・リンゴきんとんと色合いもよく、子供たちにも喜ばれそうなレシピでした。

5名づつ4グループに別れ、藤井講師の詳しい説明の後、各々調理にかかりましたが、さすがにベテラン主婦、手際の良いのと速さに私はなすすべもなく、誰かが切ってくれた大根と豚肉を炒めて・・・"おわり、"

後は盛り付けをする人、洗い物をする人と後片付けも気が付いたら終わっていました。それでいて食事の時は話に花も咲き、和気あいあいぶりにしっかり交流の場であることを実感させられました。

インフルエンザの流行期でもあり、急な欠席も数人ありましたが、年2回開催されます。機会があれば皆さん是非お出かけください。楽しく有意義な一時を1人でも多くの人達に過ごしていただきたいと痛感した一日でした。

(取材 広報広聴部)



※豚肉に含まれているビタミンは疲労回復や体の機能を正常に整えたり、脳の動きを活発にしてくれる働きがあるそうです。



◆◆ 障がい者差別解消法研修会 ◆◆

1月21日(土)、社協理事の研修会として、出雲市役所福祉推進課の出前講座「障がい者差別解消法」を開催しました。

この法律は、障がいの有無で分け隔てられることなく、人格と個性を尊重し、共生社会を実現、差別解消を目的とするものです。

①障がいのある方への「不当な差別的取り扱いの禁止」、②障がいのある方からの申し出があったら、「合理的配慮」をすること、といったことが定められています。

障がいを理由とする様々な差別がなくなるよう、たくさんの方々にこの法律を知っていただきたいものです。



半分 サロン会

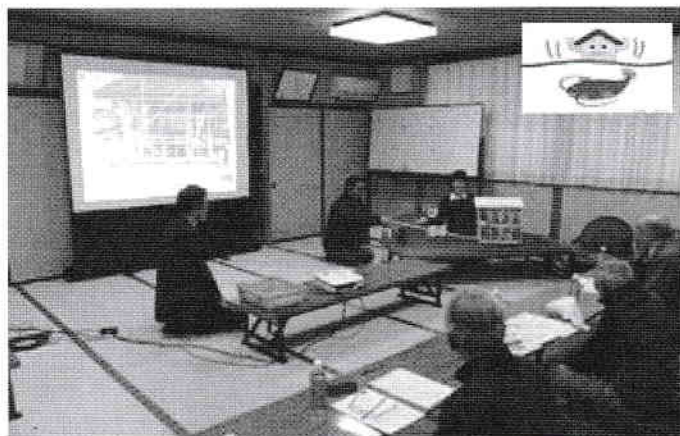
地震対策 出前講座



2月6日(月)、第3回ふれあいサロン会を半分集会所において参加者15名で開催しました。

出雲市役所建築住宅課指導係土井豆課長補佐その他2名による「住宅の地震対策出前講座」です。

平成23年3月の「東北地方太平洋沖地震」(東日本大震災)が記憶に新しいと思いますが、山陰においても、昨年10月21日に「鳥取県中部地震」(マグニチュード6.6)が起きたばかりで、日本のいつどこで大地震が発生してもおかしくない状況にあります。このような実態を踏まえ、大地震の動画や住宅モデル等を使用し、地震に備えて何ができるか、また地震が起こった時に何をしないといけないかを分かりやすく説明されました。



地震対策出前講座の後は半分大橋を渡ってすぐの所に昨年末完成した斐伊川放水路事業記念館に行きました。百年の大計と言われる斐伊川・神戸川治水事業の一つである斐伊川放水路事業を中心に計画策定から完成までの経過を放水路ゾーン、生活文化ゾーン、歴史文化ゾーンに分けて説明してあります。

利用時間—午前10時～午後4時まで

休館日——毎週火曜日、水曜日

12月29日～1月3日まで



まだ見学されていない方はぜひ行ってみてください。今回は、若い女性のスタッフさんが丁寧に説明してくださいました。

昼食をとりながら、地震のことや放水路が出来る前の話をし、有意義な時間を過ごし、散会しました。

(理事 飯國文雄)

天神 サロン会

講演「有名映画の吹き替え」とハーモニカ演奏

11月27日(日)、第3回サロン会を天神集会所にて42名の参加者を得て実施しました。

午前中は「バリアフリー映画プロデューサー」の中島春喜氏を講師に招き、「人生を重ねたからこそ出来る高齢者の社会貢献、ジーバー声優サポート隊」と題してお話を聴きました。

外国有名映画などの「吹き替え」を手掛けておられ、声優として、素人の小学生から高齢者までを募集して活動しておられます。

障がいをもった方、引きこもりや、不登校の子どもたちにも参加を呼びかけ、居場所づくりや社会参加、仲間づくりなども念頭に置いて、個々の成長を楽しみながら地道な活動を行っておられます。

参加者の皆さんは、映画の名シーンの吹き替えや素人声優の方の練習風景など映画を見ながら熱心に聴講されていました。



昼食を挟み午後は、元出雲第二中学校長で現在はハーモニカ奏者として各地でご活躍の岩崎巖氏に、「わくわくどきどき心地よく・出会いに感謝」をテーマにして演奏をしていただき、私たちも一緒に合唱を楽しみました。

多種類のハーモニカを組み合わせながら、会場に響き渡るすばらしい音色と生の迫力を堪能すると共に、懐かしい唱歌や昭和の歌謡曲などを聴き、一緒に歌うことによって昔をしのび心が癒されたように思います。そしてまた眠っていたエネルギーが呼びさまされ、新しい元気をいただいたひと時になりました。



(理事 坂本裕二)

高西 サロン会

師走の門松づくりと 研修会「特殊詐欺防止」

12月26日(月)、師走恒例の“ミニ門松づくり”を高西公会堂にて開きました。

当日は小雨模様にも係わらず29名の参加がありました。皆さん苦戦しながらも、例年より鉢も葉ばたんも大きめでとても立派な出来ばえでした。



次に高齢者研修会として、「オレオレ詐欺防止」について栗原重剛氏の体験を踏まえたお話しをしていただきました。県内でもいまだに1億円以上の被害がある

“特殊詐欺”事件に栗原氏が所轄警察署と協力して「だまされたふり作戦」を実行され、見事に実行犯グループ逮捕(しかも2件)迄の経緯を話術巧みに、ユーモアを交えての談話でした。

高齢者でも特に女性が被害者になりやすい等、今回の話を十分に参考にし「特殊詐欺には絶対引っかからないぞ」と思いをあらたにしたところでした。



最後に、福祉委員の方に毎年お世話になっている、年越しの“割子そば”をみんなで頂き、新しい年が良い年であります様、願いながら無事終了し、散会となりました。



(理事 高塚勝昭)

宮松・築山 サロン会

世代間交流で ミニ門松づくり

12月26日(月)、茶飲ん話会を小学生(高学年)と世代間交流で、手を使ったものづくりを35名の参加者で「ミニ門松づくり」を明誠ホールで行いました。

はじめに門松の由来と材料の「松・竹・梅・南天・ゆずりは・葉牡丹」の意味の説明を受け、ミニ門松づくりを20年余り行っておられる築山百寿会の奥田利晃会長から作り方を丁寧に教わりました。

しかし土台のしめ縄の男結びと三本の竹の組み方は小学生には難しく、講師・百寿会の皆さんに助けて頂きました。参加者も多く時間はかかりましたが、どれもセンス溢れる立派な門松が出来上がりました。



会場を宮松公会堂に移して、スタッフの方が朝から手作りされたおにぎりや豚汁を食べながら、門松の出来具合や世間話をして世代間交流を深めることが出来ました。



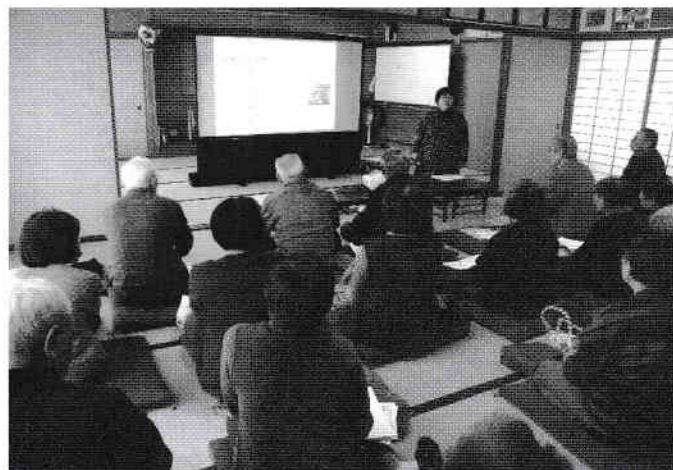
(理事 坂根勝男、理事 布野幸一)

弓原 サロン会

認知症の予防 ～しないよりしたほうが良い～

2月24日(金)、第3回のサロン会を23名の参加により開催しました。今回は塩冶地区で高齢者施設を運営し、「認知症の人と家族の会 島根県支部」代表の黒松基子様をお迎えし、「認知症の予防」と題して講演いただきました。

認知症で一番多いのはアルツハイマー型で、症状が始めた頃が発症ではなく、すでに約25年～30年前から始まっており、長い時間をかけて症状が出てくるということでした。「高齢者が下痢をしたときは、食べすぎが原因となる場合が多く、注意が必要です。また認知症の方は、排便の記憶がなく、便意があっても2分くらい放っておくと便秘になり、頭が混乱します。食べ物と排泄で気をつければ、認知症が防止できます」というような予防のためのたくさんの事例をあげてわかりやすくお話をしていただきました。



また「認知症のことで困ったことがあればいつでもご相談下さい」ということでした。

この後、阿部氏(古志町)と参加者の長廻氏によるハーモニカ演奏をしていただき、童謡やよく知っている曲を参加者全員で曲に合わせて歌いました。

(理事 福岡仁範)

ご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から塩冶地区社会福祉協議会に対し、香典返し及びご寄附をいただきました。

ご厚志に深く感謝いたしますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。浄財は、塩冶地区の福祉事業のために使わせていただきます。今後とも、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

(12月1日から 2月28日まで) 敬称略

香典返し

寄附者名	故人名	区域名	寄附金額

篤志寄附

※ 掲載欄の 一は、掲載を希望されない方

***** 編集後記 *****

今年2月益田市で、小学校の集団登校の列に飲酒運転の車が突っ込み、見守りボランティアの73歳男性が死亡するという悲惨な事故がありました。亡くなられた男性は、以前に自分の子供さんを交通事故で亡くし、そのことで子供を交通事故から守ろうとボランティアで子供を見守ってこられたそうです。また近年テレビ、新聞等で高齢者による自動車事故が多く報道されています。事故原因が車のブレーキとアクセルの踏み間違いにより、コンビ二とか人の列に突っ込む事故が絶えません。こんな事故を耳にすると、自分も間違えてアクセルを踏むのでは・・・と頭をよぎります。私も早め早めにブレーキに足を載せるように心がけています。飲酒運転撲滅はもとより、高齢者の事故が少しでも減るよう心掛けたいものです。
(理事：小畠 毅)

この「地区社協便り」は、出雲市社会福祉協議会からの助成金を財源の一部として発行しております。

宮 松
B サロン

宮松健康体操と 茶飲ん話会

宮松サロン会(布野浩子代表)では、平成28年4月から塩冶百寿会宮松クラブと共催で「宮松健康体操の会」が発足しました。当初は27名の会員を得て毎月2回講師を招き実施し、その後は参加人数も年間で延べ424名を数え、参加の皆さんからも大変好評です。



そして体操終了後の「茶飲ん話会」では、近くに住んでいながら普段顔を合わせる機会が少なかった人たち同志でのおしゃべりの場ともなり、とても貴重なひと時を過ごせました。

中でも「ひとり暮らしの高齢者の方達との会話」はお互いの健康状態、悩み事等の情報交換するうえで大変有意義であったと思っております。



また講師の先生のお話しでは、体操をしながら、時には「頭の体操や世間話を行うことは、単なる体力維持に留まらず、認知症予防等にも役立つ」とのことでした。



今回参加された皆様から来年度も是非続けてほしいと強い要望があり、引き続き準備を進めています。

来年度も「健康で長生き」を主眼として多くの方の参加を呼びかけています。

(福祉委員：杉原弘江)